

骨粗鬆症来年度から検査実施

れた成田財特法によって優先採択事業として認められたもので、事業実施予定地区の木戸台・町原・小堤・牛熊・谷台の5地区を対象にこれまで事業説明会や先進地の視察等を実施している。

汚水処理場の建設費と将来的な維持管理費のコスト軽減を図るため計画の一部を変更したので、事業採択は当初の平成7年度から1年ずれ込むと思われるが、今後も国や空港公団に陳情等を行い事業の推進を図っていく。

来年度予算と重点施策

問 不況下における来年度の財源確保と主な事業計画について伺いたい。

答 長引く景気の低迷から、国は40年ぶりに減額予算の見直しを固めた。町も歳入の大宗をなす町税に伸びが見込めず、徴収率の低下も招いており、非常に厳しい財政状況下にあるが、税の徴収率向上に最善を尽くしながら、一般経常費を極力削減し、引き続き各施策の推進に全力で取り組んでいく。

来年度の主な事業としては、スポーツ広場の2期工事や駅前東側用地の整備計画の策定、農業集落排水事業の事業計画の策定、保健福祉センターの基本計画設計、県道横芝下総線バイパス事業の推進等を予定している。



来年度に整備計画がされる駅前東側用地

住宅対策

問 ①町営住宅は長期入居者が多く空きがない。入居後の基準はあるのか。②県営住宅の入居基準は厳し過ぎると思うが。③高齢化社会が進む中で、独居老人の住宅対策として高齢者専用住宅を建設してはどうか。

答 ①5年以上の入居者で、最近2年以上の所得が条例で定められた基準を超える高額所得者に対しては、明け渡し請求ができるが、現在のところ該当者はいない。②県営住宅の入居基準は、公営住宅法に定められているので、町としてはこれに

従わざるを得ない。③高齢者が寝たきりになった場合でも、自宅で生活できるような在宅支援に重点を置いた老人福祉計画が本年度からスタートしている。また、東陽病院南側に横芝、光、野栄町の3町で誘致を進めていた特別養護老人ホームが、平成7年度から建設が始まり、その中に高齢者が自立した生活が確保できるよう工夫されたケアハウスも作られるので、これらを活用しながら高齢者福祉の充実を図っていききたい。

住民の健康

問 ①骨粗鬆症の検査体制についての検討結果について伺いたい。②住民健診の検査項目にこれを加えた場合、2名の保健婦では対応できないと思うが増員する考えはあるのか。

答 ①検査方法等については現在検討中だが、この4月から実施していく考えである。②老人福祉計画の中で示しているように、平成11年度までに3名増員する計画である。

入院給食費の助成

問 10月から国民健康保険法の一部改正により、入院給食費の一部患者負担が実施されたが、千葉県は市町村と協力しこ

れを助成することを決定した。町としての対応は。

答 厚生省は、地方単独事業による入院時の給食費の助成は不適切であるので、実施した自治体に対しては、医療費補助を減額するといった内容の通達を各都道府県に出している。各市町村その対応にとまどっているのが実情だが、福祉の観点から当町としては、県の方針に沿って来年度から母子家庭等の一部を対象に助成する方向で検討している。

公害

問 公害問題に町はどのような対応をしているのか。

答 町民の健康保護と環境の保全を図ることを目的に公害防止条例を定めている。公害の発生原因者に対しては、地域においてトラブルが生じないように配慮した中で指導している。

住宅相談窓口

問 地元業者の育成と住民サービスの一環として、住宅相談あっせん窓口を設置してはどうか。

答 都市部で設置したところもあるようだが、当町の場合現状ではその必要性はあまり見られない。状況を見ながら建設協会や商工会等と協議し対応したい。

保育所給食

問 学校給食で対応している保育所の給食問題については以前にも質問したが、